# 第３回寒河江市部活動改革検討委員会議事録（要約）

日時　　令和 6 年 12 月 18 日(水) 15:00～
場所　　寒河江市立図書館　会議室

| | |
|---|---|
| 事務局 | ただいまから第３回寒河江市中学校部活動改革検討委員会を開会する。 |
| 教育長 | 12 月 10 日に国の会議で「公立中学校の部活動改革に関する国の有識者会議第 2 回会合」があった。その中で、これまで部活動の「地域移行」としていた名称を、学校と地域が対立するような印象を与えかねないため、「地域展開」と名称を改める考えが示された。これは地域全体で子どもたちの活動をバックアップし、地域と学校が連携して行うというコンセプトをより明確に示すねらいがあると思う。寒河江市でもこの検討委員会発足当初から話題としている。今後そうした役割分担をきちんとしながら、連携する方策について議論を深めていくことが大切だと思う。<br>さて、新聞記事で、神奈川県の相模原市で公立中学校 36 校あるうちの 3 校の野球部で２つの地域クラブチームを立ち上げ、今年度からスタートしたことが掲載されていた。一つは全国大会を目指して練習に励むクラブ、もう一つは野球を楽しみながら取り組むクラブ。こうした同じ種目でも目的が違う複数のクラブがあり、子どもたちが選べるといいのではないかと思う。<br>この検討委員会も本日で 3 回目である。これまで皆様からご意見を賜り、部活動改革を進めてきた、本日はこれまでの取り組みや実証事業の進捗状況、部活動の現在の状況等についての報告、また次年度に向けた取り組みということが議題となっている。来年度の部活動や地域クラブの活動について生徒の選択肢を増やし、活動の場所の確保ができるよう、いろいろな面からご意見をいただきたい。 |
| 事務局 | 次第に沿って進む。佐藤教育長議事の進行をお願いする。 |
| 教育長 | ３．報告協議。（１）「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ骨子（案）について、事務局よりお願いする。 |
| 事務局 | 資料の説明。 |
| 教育長 | 今のことについて質問はないか。 |
| | 特になし |
| 教育長 | 無いようであれば、（２）スポーツ庁による地域スポーツクラブ活動体制整備事業並びに文化部活動改革の進捗状況について、事務局よりお願いする。次に事例についてコーディネーター（以下 CN）より紹介をお願いする。 |
| 事務局 | 資料の説明。 |
| CN | 寒河江ベースボールクラブは、市内三中学校の軟式野球部員が合同練習会を行うことで始まったクラブである。本市の中学校の野球部は、昨年度あたりから部員不足のため新人戦出場への影響が出始めていた。それを見越して、一昨年度からクラブ設立に向けた話し合いをしていた。市野球連盟、地域の関係者、各学校の顧問等で行われ、昨年度のうちに軟式野球クラブが地域に立ち上がることについて、新入生の保護者に説明をした。昨年度の時点では、不確定な部分が多く、立ち上げることはできなかった。今年度、市内の２つの中学校で単独チームとして新人戦に出場できなくなるので、クラブの発足が不可欠な状態となった。中体連後から本格的に寒河江ベースボールクラブとして動き出した。地域クラブとして週一回程度、各中学校の野球部員がそのまま活動している。<br>課題は、今は学校の先生方と連携して行っているが、今後の指導者やクラブ員の確保について、クラブ運営のあり方や経費の問題、活動場所、平日の活動ができるかといったことである。 |
| 教育長 | 今、CN から活動状況の紹介があったが、具体的に生徒の様子を紹介してほしい。校長先生お願いする。 |
| 委員 | 単独校では、練習方法の種類が限られるが、合同練習により人数が増えるので練習方法の種類が増えること。また、これまでは、同じ中学校のメンバーが練習相手だったが、合同 |

| | |
|---|---|
| | 練習をすることで他校のメンバーと練習することになり、大いに刺激を受けている様子であり、大変効果があると捉えている。<br>課題もある。一つは、休日や長期休暇中は合同練習ができるが、平日の練習は人数不足のため基礎練習しかできないこと。もう一つは、他校の中学生が一つの中学校に集まらないと練習できないことである。 |
| 教育長 | 地域クラブとして中体連大会への参加についての方向性はどうか。 |
| CN | 今後検討していく。ただし、各中学校で単独出場できる場合は、そちらを優先するかもしれない。 |
| 教育長 | 剣道についても、クラブ化し、活動をしている。今年度中に中体連大会に出場できる地域クラブとして登録する予定である。休日にある大会などは、地域クラブとして出場する計画である。<br>他の競技にも同じことが言える。来年の秋以降は休日の部活動がなくなるので、各競技団体、学校、保護者へも周知をしながら、子どもたちが休日に活動できる手立てをとっていく必要がある。<br>それでは、次に（３）寒河江市地域クラブ指導者等研修会について、事務局お願いする。 |
| 事務局 | 資料の説明。 |
| 教育長 | 事務局から説明があったように、皆様からは研修会の内容ややり方、各団体からの協力等についてご意見をいただけたらと思う。<br>研修会には、検討会の委員からも参加があったようなので感想をお聞きしたい。 |
| 委員 | 参加した同じクラブの指導者に話を聞くと、生徒たちに実際に指導することへの責任を実感していた。元教員からの実際の指導方法や体験談を聞くことで勉強になったようだ。研修会にはプラスのイメージを持っていた。 |
| 委員 | 質問だが、このアンケートの回答の中に「部活動の時にはなかった障がいが、地域クラブにはあり～。」とあるが、具体的にはどんなことを言っているのか。 |
| 教育長 | 事務局お願いする。 |
| 事務局 | これは、推測での回答となる。おそらくこのアンケートを書かれた方は、学校部活動と地域クラブの両方に関わられていると思う。顧問の場合は、学校施設や公共施設は無料でなおかつ手続きもスムーズにできるが、地域クラブとなると、そこに手間や使用料が生じる。また、連絡体制にしても、顧問であれば個人情報を扱えるが、地域クラブの中で個人情報を共有するのは難しいこと等、そういったことを示しているのではないかと思われる。 |
| 教育長 | 他に質問等お持ちの方はいらっしゃるか。 |
| 委員 | 以前にも質問したが、「部活動の先生や保護者会長がなぜ研修会にいないのだ。」というアンケートの回答について。研修会で事務局が説明し、CNも説明をした。一部の人の意見だとは思うが、それでもこういう意見を言う人がいる。こうした人たちを減らしていくことが必要なのではないか。 |
| 教育長 | 事務局いかがか。 |
| 事務局 | ご指摘のとおりだと思う。ただ、ホームページでの周知、生徒・保護者のアンケートも行っている。新入生オリエンテーションでも各中学校で行ってもらっている。でもそれだけでは足りないのだと思う。ぜひ、別方向からのアプローチを教えていただければと思う。 |
| 委員 | 部活動改革について意見を言うのは、小学６年生の保護者ではないかと思う。部活動は、小学校まではなかったのに突然中学校で現れる。なおかつ、これまでの部活動とは変わっていく。ホームページの情報は自ら取りにいかないといけない。でも、現在、寒河江市で使用しているさくら連絡網ならば、通知が来たらとりあえず目を通すことになる。保護者目線では、さくら連絡網をさらに活用するといいのではないかと思う。<br>別件で、指導者研修会に参加したが、スポ少での指導と中学生への指導はやはり違う。研修会で実際のトラブルの例などを聞き、いろいろな発見があった。ワークショップ形式の研修では、「うちの地域クラブでは～。」とか「こんな課題が～。」という会話があちこちであった。それが情報交換の場となった。だから、ワークショップ形式の研修会については、参加者としては大変ありがたかった。 |

| | |
|---|---|
| 教育長 | 委員からあったようにワークショップ形式であれば、互いに話していく中で、共感であったり、アドバイスであったり、いい情報交換の場となりえる。今後もワークショップ形式の研修会を企画できるように事務局にお願いする。<br>また、先ほど委員からあったように、これまでも「部活動の地域移行は部活動を地域にお願いするのではない。」と説明してきたが、なかなか浸透していない。今後もこのことについては説明していかないといけない。周知方法としてもさくら連絡網が挙げられたが、この検討委員会の内容もさくら連絡網で伝えているが、自分から情報を取りに行く保護者は多くないのではないか。 |
| 委員 | 関連して、周知は大事だと思う。さくら連絡網は、保護者や学校に関係する方には有効な手立てだと思う。より周知するには、市報へ部活動改革の進捗状況や見通しなどを掲載することができないか。 |
| 教育長 | 事務局いかがか。 |
| 事務局 | 準備はしているが、情報量が膨大になる。市報は紙面が限られているので、できるだけコンパクトに情報を伝えられるようにしたい。 |
| 教育長 | 保護者の意見を聞くと、部活はなくなると考えている人が多いと感じる。部活動はなくならない。ただ行うのは、平日のみとなる。休日の活動は地域の方からお手伝いいただきたいと伝えていくべきだと思う。 |
| 委員 | 今のようなことが伝わるようにお願いしたい。 |
| 教育長 | 他にご意見は。 |
| 委員 | 学習指導要領の中の地域クラブの取り扱いについて。「地域クラブ活動は、部活動とともに教育的意義を有する活動であり、～。」とある。受け止める側としては、やはり部活動を受け継ぐのかと思ってしまう。この部分の解釈はどうするか。もう少しわかりやすい表現はないものか。 |
| 教育長 | 事務局いかがか。 |
| 事務局 | 教育的意義というのは、例えば技術指導だけをしているのではなく、挨拶、礼儀、規律などもあわせて教えるということではないかと考える。 |
| 委員 | 技術指導もするが、学校で大切にしていたことを地域でも守っていければ、学校と地域がつながることができると思う。 |
| 教育長 | この文言については、私も気になっていて、せっかく部活動と地域クラブ活動を整理してきたのに、またごちゃごちゃになってしまわないか心配である。この文言は以前からあったのか。 |
| 事務局 | この文言は今回はっきりと出された。 |
| 委員 | もう１つある。教員の給料のことについて話題になった。４％から 10%まで上がるのでしょうか。先生方の給料は上がるのだから学校部活動はできるのではないか、と話す人もいる。聞く人によって、特徴的な部分だけを受け止めて判断してしまう。そう言ったことも誤解の原因の一つになるのではないか。 |
| 教育長 | 給料の４％というのは、時間外で換算すると 8 時間程度である。中学校の教員は、時間外勤務を 60 時間とか 80 時間とかしている。４％を 10%とか 13%とかにあげても、時間外の時数にしたら 20 時間もいかない程度であると思う。給料が上がるのだから、本来やっていた部活動を元に戻せるのではないか、そういう議論になるとまた混乱していく。<br>では、（４）について、事務局お願いする。 |
| 事務局 | 初めに、芸術文化協議会副会長から説明申し上げる。 |
| 委員 | 11 月 3 日に寒河江総合文化祭を開催した。41 団体 850 名の会員がいる。民謡クラブや詩吟クラブには、小学生や中学生の会員もいる。今回ここで発言する機会をいただき、お話ししたいのは、中学校で文化活動を PR する機会を設けていただけないかというお願いである。総合文化祭は市からも補助金をもらい行っているが、高齢化の中で会員は減っている。そうした中、一生懸命活動しながら、小さい子どもの時から、育成していくことができないかと考えている。 |
| 事務局 | 体験お茶会の説明。 |
| 事務局 | 他市の茶の湯体験教室の紹介。 |

| | |
|---|---|
| 教育長 | 小学生の時から文化的な活動をしている子は今までもいたと思う。ただ、中学校に行くと部活動があるためそれをあきらめてきた経緯もあるだろう。これからは、そこは継続していくことができるので、せっかくやってきたことをあきらめないでほしい。<br>委員からあったように、各中学校で文化活動を PR できるように、各校長先生方と事務局で今後見通しについて検討してほしい。<br>つづいて、（５）寒河江市の部活動の現状について CN お願いする。 |
| CN | 寒河江市の部活動の現状についての説明。<br>部活動に未加入の生徒は全体の25.6%いる。また、そのうち、部活動にも地域クラブにも未加入の生徒は、11.7%で 84 人いる。<br>昔に比べ、人数が減っていることもあり、どこの部活動も活気がなくなりつつある。 |
| 教育長 | この点について、ご意見はないか。<br>では、吹奏楽について事務局から現状を教えてほしい。 |
| 事務局 | 寒河江吹奏楽団と連絡を取ろうとしているが返事がまだない状況である。<br>以前は、教室型式で、何回コースと設定して、運営していくことを想定していたが、現状は動けていない。一方、陵西中学校吹奏楽部で寒河江吹奏楽団の団員の方が講師として指導をしているという情報を聞いた。そのようなやり方で継続していくことも地域クラブの活動として考えられる。 |
| 教育長 | 吹奏楽の場合、楽器を運ぶというのは大きな課題だが、今の話であれば、例えば、土曜日に活動がある時に、学校に指導者が来て指導するといった形のクラブでも可能ということでよろしいか。また、人数が少ない場合は、機会を設けて合同での練習会などもできるといい。 |
| 委員 | 先ほどの報告では、美術の部員も多かったが、ここは、芸文協と連携は取れているのか。 |
| 事務局 | まだ、連携を取っていない。できれば、本日の会議以降に、芸文協さんの側からご提案いただけるとありがたい。 |
| 教育長 | 例えば、先ほどの吹奏楽と同じように土曜日に学校で活動することもいいのではないか。<br>土曜日の学校の鍵の管理をどうするかという課題はあるが、いろいろなことをやってみないと前には進まないと思う。県美展を見ていると若い人の感性は素晴らしいものがある。<br>また、寒河江にも美術の大家がたくさんいらっしゃる。そういう方々から中学生が教えてもらえる環境があればいいと思う。場所として、学校が難しければ、公民館なども候補としてあるだろう。 |
| 委員 | 美術部のことに関して言うと、美術部は休日の活動をしないというのが前提で部活動を選んでいる子どもたちがいる。そこが心配な点であるものの、絵を描くことが好きな子どもたちは多いので、先ほどのお茶会のイベントのように絵画教室みたいなものを開催していただければ興味のある子はそこに行くのではないか。 |
| 教育長 | 美術部員全員が参加するということではないので、休日にもっと描きたいという子がいれば、そういったことも検討していけるといい。では、校長先生方や芸文協の方々と調整しながら、具体的に話が進められるように事務局お願いする。 |
| 委員 | 話を聞いていて、学校では、どんな時間が使えるかと考えたところ、コミュニティタイムというような木曜日の部活動がない日の活動も考えられる。休日の活動を部活動の延長として考えてしまうが、まず、楽しさや面白さなどに触れてから興味がある子どもが休日の活動に行くという流れの方が順番はスムーズなのではないかと思う。 |
| 委員 | 文化部の子どもたちは休日の活動がないからその部活動に入っている子もいる。私たちが思っていることと子どもたちの考えていることが違うことはよくある。<br>例えば運動部のことを考えても、私たちは休日の活動の担保を何とかしようと考えているが、子どもたちや保護者は大会での活動を充実させたいと考えている。部活動の部員数が減っている。そして、休日の部活動がなくなる。そこから考えると大会に出られなくなる。だから、生徒や保護者は、部活動はなくなると考えるのだと思う。<br>私は地域展開して、地域クラブ化することで大会に出場できるようにしていくとよいと考える。顧問の中にも休日の子どもたちの活動を心配している人もいて、自分たちが地域クラブを立ち上げないからこうなっていると考える顧問もいる。ただ、顧問が今いる中学校 |

| | |
|---|---|
| | にいる期間は限られているので、顧問が地域クラブの指導者となるのは、持続的ではない。そう考えると、寒河江市にあるいろいろな競技団体と顧問が話をする機会を作っていただけるともしかしたら、地域展開も可能なのではないだろうか。学校だけ、教育委員会だけで地域展開しようとするのは難しいと思う。 |
| 教育長 | 木曜日などに短時間でも指導者の方に来ていただき活動する。美術クラブというような形で活動することもあるのではないか。<br>また、運動関係については、競技団体と連携をしていかないと持続性がなくなると思う。こうしたことを検討委員会でも話し合っているが、なかなか進まない。学校と地域の連携を深めていかないといけない。<br>それでは、（６）部活動地域展開の事例について、事務局お願いする。 |
| 事務局 | 資料の説明。 |
| 委員 | 後援クラブというのがあったが、いつだれが認めているのか。 |
| 事務局 | ホームページの情報から推測すると、市が定める要件を満たすクラブについて、後援クラブとしているようである。 |
| 教育長 | 総合型地域スポーツクラブとの関りについてご意見はあるか。 |
| 委員 | 先日、総合型地域スポーツクラブ（以下：総合型SC）の村山地区ブロック会議があった。総合型 SC として、部活動の受け皿としてやっているところはない。ただ、陸上を専門に活動している総合型 SC では、ガイドラインに縛られるつもりはなく、総合型 SC に加入したお客さんとして扱うという方針で運営しているようだ。部活動の受け皿ではなく、中学生も会員として扱うとしている。村山地区全体では、率先して部活動の受け皿として活動している総合型 SC はない。 |
| 教育長 | 保護者の立場としてご意見いかがか。 |
| 委員 | バレー部に子どもが入っていた。その部活動もクラブ化が進んでいる。校長先生の理解もあり、顧問と指導者の話し合いも進んでいる。委員としての立場で得たものをアドバイスできればいいと考えている。 |
| 教育長 | 他にご意見はあるか。 |
| 委員 | 受け皿としての地域クラブはあとどれくらい足りていないのか。 |
| 事務局 | 幾つというのは、数えられない。ただ、部活動にある種目で、休日の活動先がない種目については、働きかけをしたい。また、部活動にない種目であったり、同じ種目でも、複数のクラブがあってもいいと考えている。ただ、できるだけ多くの選択肢を作っておきたいという思いがある。 |
| 教育長 | 今、部活動をしている子どもたちの中で、ぜひ競技を続けたいという子どもたちのために、環境を整えたい。また、大会で上位入賞を目指すクラブと競技を楽しみたいクラブとそういったクラブもできてくるといいと考えている。<br>他にご意見はあるか。 |
| 委員 | 教育委員会から委嘱を受けたスポーツ推進委員として、駅伝やマラソン大会に協力している。他にも、ニュースポーツの出前教室などをしている。今回の資料を見て、市内で 80 人以上も部活動にも地域クラブにも加入していない子どもがいることを知り驚いている。<br>我々スポーツ推進委員は、子どもからお年寄りまでを対象に、スポーツを推進する立場にいる。スポーツする機会がなくなってしまう子どもたちのために、スポーツができる場を設けることができたらいいと考えている。教育委員会から求められるのであれば、そこは協力していきたい。スポーツ推進委員の名称や活動内容があまり知られていないようなので、学校等でのスポーツ教室等での活動を進めることができれば、スポーツ推進委員の活動の PR にもつながると考えている。<br>スポーツ推進委員の県大会や東北大会、全国大会でも部活動に関しての情報はなかなかあがってこない。スポーツ推進委員は地域の方々のスポーツのコーディネーターとして連絡調整する役割があるので、中学生への具体的な活動を率先して行っていきたいと考えている。ぜひお声がけをお願いしたい。 |
| 教育長 | スポーツ推進委員の活動報告などを拝見すると、1 つのスポーツだけではなく、いろいろなスポーツに取り組んでいる様子が見られる。いろいろな体験ができる機会をスポーツ推 |

| | |
|---|---|
| | 進委員の方にお願いできればありがたい。出前講座の拡大版みたいな形で定期的に開催していただければ、参加したいと考える中学生もいると思う。<br>他にご意見はないか。<br>いろいろな面からのご意見ありがとうございます。今回は、具体的な提案もあったので、事務局は調整しながら、進めていけるようお願いする。<br>以上で協議を終了する。 |
| 委員 | これで第３回部活動改革検討委員会を終了する。ありがとうございました。 |